

オフィスの紙資料を効率良く保管、検索するための
「イメージ保管・検索システム」を提供いたします

株式会社富士通アドバンスソリューションズ(代表取締役社長:広西 光一、本社:神奈川県横浜市、略称 FASOL)は、オフィスにて使われる紙の資料をイメージデータとして保管し、効率よい検索を可能にするパッケージ製品「イメージ保管・検索システム」を開発しました。製品は8月1日より販売を開始いたします。

手書きの資料や定形帳票、印刷物など、オフィスの紙資料をスキャナーで読み込みイメージデータにします。イメージデータとして保管された資料は、長期保管、劣化防止、省スペースを実現します。更に、イメージデータをDBへ保管する際にインデックスを作成するので、大量に発生する帳票等の管理で、効率よい検索が可能です。

本製品は、すでに川崎信用金庫様(理事長:寺尾 嘉剛、本店:神奈川県川崎市)において、本人確認業務^(注1)の目的でご導入いただいております。6月11日より稼動しております。

尚、ご導入に際し、川崎信用金庫様より、業務運用面でのアドバイスを頂き、より使いやすく、効果的な機能を取り込んでおります。

本製品は、業種、業務を選ばず、あらゆる用途にご利用いただけます。Oracle Databaseを採用しているため、既存システムのDBとも容易な連携が可能です。製品標準の画面、機能をご利用いただければ、最短3ヶ月でご導入いただけます。

【製品の特長】

1. イメージデータ処理と高速検索

紙の資料をスキャナーで読み取り、検索キー情報を持ったインデックスと、実際の資料をイメージデータとして別々にDBに保管します。イメージデータはDVDに保管する事も可能で、重要な資料の長期保管、劣化防止、また、オフィスに溢れる膨大な資料保管の省スペース化に役立ちます。

更に、インデックス情報をDB内に格納しているため、DVDを一枚ずつ確認することなく、イメージデータ保管先が容易に特定でき、必要な資料が高速かつ効率よく検索できます。

2. 帳票認識^(注2)で簡単保管

資料をスキャナーで読み込む際、帳票認識をする事ができます。予め帳票の様式を登録しておけば、読み込んだ資料が定型のものか否かを自動的に識別します。

更に、定形帳票の場合、各項目に記載されている文字を自動認識してコードデータに置き替えるので、手書きの資料も簡単にコード化する事ができます。

川崎信用金庫様によるご導入事例

—ご導入背景—

川崎信用金庫様では、一日平均 500件あまり発生する本人確認の資料を紙で保管していましたが、その膨大な量の保管と検索性を考えた結果、本人確認資料を本部で集中登録(保管)することとし、システム化されました。

システム化に当たり、本製品の汎用部分を活かし、且つ本人確認業務を効率よく遂行する為の業務機能を共同で検討させて頂きました。

—処理の特長—

- 連続読み取りが可能なスキャナーを採用し、登録処理を高速化(毎分28枚)。
- 読み取った本人確認資料は1案件毎に、本システムが自動的に括って登録。
- イメージデータと入力データを並列表示させ、確認作業の負荷を軽減。
また勘定系データとの突合により、手入力による登録作業の負荷も大幅に軽減。

【販売価格(税抜き)】

「イメージ保管・検索システム」基本 300万円より

- サーバ側: 1ライセンス
- クライアント側: 10ライセンス

【動作環境(OS)】

サーバ : Microsoft® Windows2000 Server

クライアント : Microsoft® Windows2000 Professional

【提供】

本製品は、当社および富士通株式会社より販売しております。

【用語説明】

注1: 本人確認業務

平成15年1月6日より施行された「金融機関等による顧客等の本人確認等に関する法律」に基づき、預金口座の開設や200万円を超える大口の現金取引等を行う際に、公的証明書により顧客の本人特定事項を確認する事。

注2: 帳票認識

事前に帳票の様式と項目情報を登録しておき、スキャナーから読み取った帳票がどの様式かを自動的に識別する事。更に、その様式にあった項目情報を文字認識する事。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、登録商標です。

以上

●本件に関するお問い合わせ先
システム本部 第三システム事業部
電話:045-438-2074
E-mail: ihokan@fasol.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容などは発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。
